

原小学校コミュニティ・スクールだより



～やさしく 強く やりぬく子～ 発行日：令和8年 6月 11 日〈NO.3〉

3年生が、車いす体験をしました

広島県のあいサポート運動による県内最初の訪問が原小学校！



6月2日(火)5・6校時、去年に引き続き3年生が「きよさん」こと吉川清代江さんを招いて車いす体験の学習をしました。吉川さんは西条町在住で国指定の3つの難病と闘いながら、障がい者と健常者をつなぐ架け橋となるべく「きよさんガーデンプロジェクト」を立ち上げて、小学校～大学などで講演や講義をされています。また、障がい者と企業をつなぐ就活サポートもされているとのこと。

この日は右下に書いています様々な内容について分かりやすくプレゼンテーションしてくださり、子ども達は真剣な表情で聞いていました。

後半は、実際に交代で車いすに乗ってみたり押してみたりして、道路の状況が違うといかに車いすでの移動が難しくなるかを体感しました。3年生にとっては、とても貴重な経験となりました。



〈きよさんの話を聞く児童〉



〈段差のある道路を想定して〉

〈吉川さんからのメッセージ〉

障がいのあるなしに関わらず、困った時にはお互い助け合いましょう。とても勇気がいることだけど、困っていたら声に出してみて。困っている人には、声をかけて助けてあげて。「何かお手伝いしましょうか？」

〈車いす。きよさん…出会いは宝物！〉プレゼン内容

- ① きよさんプロフィール
- ② まずは…きよさんの体について
- ③ 健常者から障がい者へ
- ④ そんな時…出会った!!! スポーツ交流センター「おりづる」
- ⑤ 障がい者になってから…生活かんきょうは？
- ⑥ 会社の中で工夫されていることは？
- ⑦ きよさんの車いす生活は…
- ⑧ 困ることは…？
- ⑨ クイズ①…きよさんは一人で車を運転して県外へ行ける？行けない？
- ⑩ クイズ②…きよさんは一人で新幹線に乗って東京へ行ける？行けない？
- ⑪ 困っている人を見かけたら、声をかけよう

「何かお手伝いしましょうか？」

総合的な学習の時間スタート！5年生が小倉神社へ行きました



〈県道沿いの下の小倉神社にて〉



〈西条盆地の土の話を聞く児童〉

6月8日(月)、5年生が秋の学習発表会での総合表現「菖蒲の前伝説」に向けて、伝説に所縁が深い小倉神社を見学しました。現地へは今年も自治協子ども部会の井上順一さんに案内していただき、伝説の歴史的背景や原の自然について詳しく説明していただきました。

今年も神社の鳥居前にて、校歌に歌われている「赤い土」(花崗岩の長年の風化によってできたもの)と西条盆地の水田の泥土の違いについて簡単な実験(写真)を見せてくださり、赤土は水がしみ込みやすく、大雨の際に災害の原因になりやすいことを学びました。

神社では、菖蒲の前のお墓とその周辺にある大小のお墓の辺りに近づいた頃に、本校で篠笛の指導をしてくださっている川口裕子さんが篠笛を演奏してくださいました。菖蒲の前が笛を吹きながら最期の時を迎えたと伝えられている当時の雰囲気味わうことができました。その後は本堂に奉納されている絵馬の説明を聞いたり、伝説に登場する鵜(ぬえ)の話を聞いたりして、背景となった源平合戦の時代のイメージを膨らませることができました。子ども達は、話を聞きながら熱心にメモを取っていました。



↑ 〈あやめの前の墓へ向かう児童〉



↑ 〈あやめの前の墓の前にて〉



〈絵馬についての話を聞く児童〉



〈H30 豪雨で削られた小倉大谷の話を聞く児童〉